

神は愛なり

～宣教の礼拝～

ヨハネの手紙Ⅱ 4:8-9

「神は愛だからです。神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。」

聖書の教える神

- ・ 創造主

- 光・時・存在(物質)・自然法則
- 私たちは目的を持って造られた

- ・ 唯一

- すべての源は一つである
- 信じるならば一人でなければならない

一神教への疑問

- なぜ一つ(一人)に限定するのか？
 - － 一人で十分だから
- いろんな宗教があってもいいじゃないか？
 - － 「山はどこから上っても頂上は同じ」？
 - － 他の信仰を否定しない
- 一神教同士は戦争するじゃないか？
 - － 多神教の国(日本)でも戦争する

神は愛である

- 神はわたしたちと親しい関係でいたいと願っておられる
 - － 願いを叶えたり罰を与えたりするのではない
- 神は私たち一人一人を大切に思っている
 - － 「わたしの目にあなたは価高く、貴く／わたしはあなたを愛し…」＜イザヤ43:4＞
- 神の愛は親が子を愛するのに似ているが比較にならないほど大きい

神の愛の表現

- 「独り子」(イエス・キリスト)を世に送られた
 - 「独り子」とは最も大切なものの象徴
 - 神は最も大切なものを手放すほど、私たち一人一人を愛しておられる
- 「独り子」は「わたしたちが生きるようになるため」に遣わされた
 - 「生きる」とは永遠の命を生きること
 - 神と再び共に生きること

キリストによる救い

- ・ イエス・キリストは私たちの身代わりとして死に、罪から解放して下さい
 - 「イエスは、**わたしたちの罪のため**に死に渡され、わたしたちが義とされるために復活させられたのです。」〈ローマ 4:25〉
 - 私たちは自分の力では罪を除くことも、神のもとに帰ることもできない

神に愛されて生きる

- 「神は、その独り子をお与えになったほどに、世（**あなた**）を愛された。」 <ヨハネ 3:16>
- 神に愛されて生きるほど安心なことはない
 - － 神の愛は私たちから決して離れない
 - － 神は私たちに常に最善の道を備えられる
 - － 常に神が共におられ、助け、守り、導かれる
 - 「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」 <マタイ 28:20>